

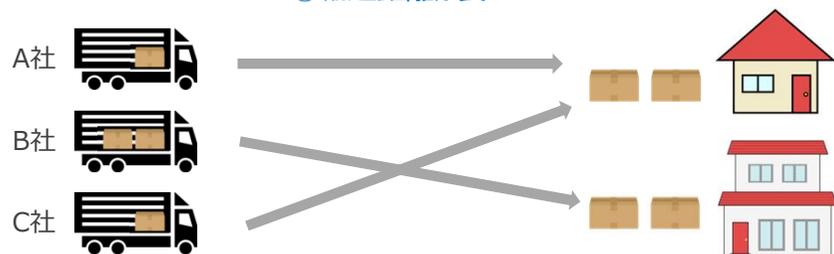
事業目的

- 離島や山間部などの過疎地域の物流の担い手不足や貨物量の減少等に対応し、地域の物流網の維持・確保を図るため、自治体、物流事業者等が連携して取り組むドローンを活用したラストワンマイル配送拠点の整備を支援。

要求の背景・経緯

- 過疎地域では都市部よりも担い手不足や貨物量減少、積載率低下などの課題が深刻化しており、地域の物流網の維持・確保を図るための取組が急務となっている。

①積載率が低い ②輸送距離が長い ③貨物量が少ない



- また、能登半島地震の災害対応では、道路が遮断された孤立集落までドローンを活用した迅速な支援物資輸送※が行われており、平時からドローン配送拠点を整備することは災害時の輸送手段を確保する観点からも有益。

※輪島市・能登町の例では、徒歩5～6時間かかる孤立集落の避難所まで、ドローンを活用して16分程度で医薬品等の支援物資を配送。

- ⇒ 過疎地域のラストワンマイル配送の効率化と災害時の代替輸送手段の確保のため、平時からドローン配送拠点を整備。

補助対象等

補助対象：自治体、物流事業者等が連携して取り組むドローン配送の初期投資（機体、充電設備等）と初年度の運行経費
 補助額等：1事業あたり最大3,500万円程度（補助率1/2）

事業概要

- 自治体・物流事業者等が連携しながら、トラック等の陸上輸送とドローン配送を組み合わせるラストワンマイル配送を効率化する取組を支援（災害時の活用を見据えた平時からの事業化にも寄与）。

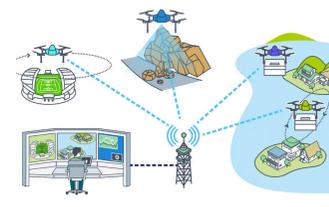


社会受容性の確保や自治体・事業者の運用ノウハウの蓄積に寄与

レベル4飛行による輸送サービスの充実



1対多運航による輸送サービスの実施



災害時における支援物資輸送体制の構築



過疎地域におけるドローン物流の社会実装を促進